

外国人ドライバー雇用に向けた

インドネシア視察研修

(公社) 秋田県トラック協会

1. 目的

①人材採用委員会の発足

- 令和6年12月、秋田県トラック協会内に『人材採用委員会』を発足
- 佐藤委員長（丸佐運送）、佐賀副委員長（秋田エスエス商運）、他6名の委員で構成
- 本委員会では、会員事業者のドライバー不足解消・人材採用に向けた様々な手法を協議検討し運営する委員会

②人材採用委員会のこれまでの協議内容

- SNSの活用
- 女性ドライバー雇用促進
- 合同面接会（東京）
- 新卒採用
- 求人募集サイト
- トラック乗車体験会&マッチング会
- 外国人ドライバーの採用に関する情報発信**

- ➡ 特定技能1号に自動車運送業が追加されたことを受け、本委員会でも『外国人ドライバーの採用』の協議を開始
- ➡ 当県においては制度等が浸透していないことから、外国人ドライバー採用に向け、概要・費用・対象国の特徴等を委員会で取り纏め発信することが決定
- ➡ 勉強会（県サポートセンター講師）や視察（秋田スズキ）を委員会にて実施
- ➡ トラックドライバーとして就労を望む対象者や送り出し機関の状況、日本語教育現場の状況を現地視察した上で情報発信した方が良いとの意見があり、現地視察が決定（参加申込者10名未満の場合は見送り）
- ➡ 当初は対象国をベトナムとしていたが、トラックドライバー採用が増加しているインドネシアに変更
- ➡ 12名の参加申込があったことから視察が決定

2. 特定技能

① 特定技能制度の概要

中小零細事業者をはじめとした人手不足は深刻化しており、経済・社会基盤の持続可能性を阻害する可能性が出てきている。生産性向上や国内人材確保のために取組みを行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野において、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人を受け入れていく仕組みを構築するために特定技能が創設された。

特定技能には2種類の在留資格があり、「特定技能1号」は特定産業分野に属する相当程度の知識又は経験を必要とする技能を有する業務に従事する在留資格。「特定技能2号」は特定産業分野に属する熟練した技能を要する業務に従事する在留資格となっている。この内、自動車運送業は特定技能1号に分類される。

② 特定技能1号のポイント

- 在留期間：法務大臣が個々に指定する期間、通算で上限5年まで
- 技能水準：自動車運送業分野特定技能1号評価試験合格者
- 日本語能力水準：日本語能力試験N4以上（基本的な日本語を理解し、日常生活での簡単な会話や文章の読み書きができるレベル）
- 支援対象：受入れ機関または登録支援機関
- 転職：可能

③ 自動車運送業の特定技能ビザ取得に必要なもの

- 日本語能力試験（N4以上） ←母国取得
- 自動車運送業分野特定技能1号評価試験 ←母国取得
- 日本の自動車運転免許 ←母国で取得することが出来ないため、特定期間6ヶ月間で取得しなければならない

3. 日本免許取得取得方法

①外免切替制度

- 外免切替制度とは、外国で取得した有効な運転免許を、日本国内で使用できる免許に切り替える制度
- 外国人による交通事故や無資格運転の増加等の理由により、令和7年10月1日より厳格化
- 厳格化後の審査状況（10～12月）は、知能試験合格率92.5%（令和6年中）から42.8%、技能試験合格率30.4%から13.1%に減少
- 大型の外免切替は技能試験が難しく、普通免許か準中型免許を取得してから大型免許を取り直すのが一般的

■外免切替制度の厳格化まとめ

項目	改正前	改正後	変更ポイント
住所要件	住民票なしでも可（地域差あり）	住民票必須、短期滞在者は原則不可	観光客の取得防止、実質的に日本移住者限定へ
知識確認（学科）	10問・イラスト中心	50問・文章問題中心	問題数5倍、内容も日本の本免に近い
学科合格基準	70%以上	90%以上（45問正解）	合格ラインが大幅上昇
技能確認（実技）	基本操作中心	横断歩道・踏切確認など追加	採点基準が細かく厳格に
技能合格率	約30%	約13%	実施日本の技能試験に近い難度へ
学科合格率	約92%	約43%	ほぼ半減
申請者の扱い	海外免許保持者なら比較的容易	実質的に再試験制度化	日本の交通ルール理解を重視

3. 日本免許取得取得方法

②日本の教習所で免許を取得

- 日本に入国後、教習所で準中型免許（普通免許）を取得する
- 準中型免許取得後、母国での運転経験3年以上が認められる場合はすぐに大型免許取得カリキュラムに進むことが出来る

■ 2つの方法の比較

項目	外免切替	日本で取得
取得までのスピード	最短1日～数日で取得可能	1～3ヶ月かかる
費用	7,000～10,000円 ※普通免許が準中型免許の切替 ※不合格の場合は再度費用が発生	300,000～
大型免許の取得	母国で大型免許保持者であれば大型に切り替可能 ※難易度が高い為運転経験での取得が多い	準中型（普通）→大型の段階取得が必要 ※母国での運転経験が3年以上ある場合は大型へ行くことが出来る
難易度	厳格化により難しい	合格しやすい
日本の交通ルール理解	不十分になりやすい	しっかり学べる

4. 評価試験受験状況

自動車運送業分野特定技能1号評価試験が始まり1年が経過。トラックは4,304人が国内外で受験し、3,054人が合格（合格率71%）

■試験実施国別受験者数・合格者数（トラック・バス・ハイヤー、24年12月～25年11月末まで）

順位	国	受験者数（合格者数）
1	日本	2,416人（1,817人）
2	インドネシア	1,424人（942人）
3	ミャンマー	295人（239人）
4	カンボジア	239人（182人）
5	フィリピン	213人（127人）
6	ネパール	203人（152人）
7	スリランカ	119人（73人）
8	タイ	110人（93人）
9	インド	68人（58人）
10	モンゴル	53人（36人）
11	ウズベキスタン	25人（13人）

5. インドネシア

■ インドネシアの特徴

人口	約2.8億人（世界4位）
言語	公用語：インドネシア語、他に700以上の言語
宗教	イスラム教（多数派）、キリスト教、ヒンドゥー教など
気候	熱帯気候（雨季と乾季）
主要産業	農林水産業、製造業、鉄工業など
ハンドル位置など	左側通行・右側ハンドル
給料	1ヶ月約4万円前後
その他	<ul style="list-style-type: none">・平均年齢が約30歳前後で、人口構成が比較的若く生産年齢性が多い・親日的で協調性が高い

■ イスラム教の主な特徴

食事	豚肉・アルコール禁止など
生活	1日5回の礼拝、ラマダン月の断食など
信仰内容	唯一神アッラーへの信仰、ムハンマドを最後の預言者と認める

6. 現地視察

①参加者

No	事業者名	役職	氏名
1	六郷小型貨物自動車運送(株)	代表取締役	近藤 哲泰
2	丸佐運送(資)	代表社員	佐藤 邦治
3	(株)三協運輸	専務取締役	池端 一成
4	〃	-	澤田 健吾
5	(合)スマイルエクスプレス	営業課長	豊島 健
6	秋印(株)	専務取締役	三浦 善寛
7	〃	-	吉川 博之
8	船川臨港運送(株)	専務取締役	初山 信治
9	(株)仙建	代表取締役	佐々木 正龍
10	(株)岡部興業	代表取締役	岡部 茂信
11	(有)藤原運送	代表取締役	藤原 和彦
12	豊幸商事運輸(有)	代表取締役	藤原 幸
13	(公社) 秋田県トラック協会	業務部課長	宮崎 知之

②視察先

- A. 桃太郎日本語学校
- B. MINORI

6. 現地視察

③視察内容

桃太郎日本語学校 (2/18)

- 住所 Jl.Raya Kosambi,GG Garda RT.019/006,Kec.Klari,Kab.Karawang
- 電話番号 +62 822 97695371
- 代表 INDAH WULANDARI (インダ ウーランドリ)
- 特徴

- 桃太郎日本語学校は、インドネシア政府と日本側企業が協力して設立された送り出し機関を兼ねる日本語学校
- 登録支援機関「スマイルシード協同組合」と提携
- 講師は全員インドネシア人
- 約50名20代前半の学生が在籍し、日本語教育・文化理解・生活指導・建築技術研修などを行っている
- 日系メーカー（トヨタ・ホンダ）が進出している地域で、日本の工場での就労経験を持つ学生が多い
- これまでは建設・清掃・介護・倉庫の業種に送り出してきたが、昨年からは運送業への送り出し業務をスタート
- ドライバー職希望者には、日本の交通ルール・道路標識・自動車整備などの教育を行っている
- 外免切替が厳格化されたことを受け、日本での免許取得を目指す
- 大阪の同一トラック事業者3名内定、住宅資材の運搬業務に従事する予定
- 現時点で4名がトラックドライバー職を希望
- 参加基準は、N5相当（基本的な日本語能力）を有しており、インドネシアでの自動車の運転経験がある方

6. 現地視察

③視察内容

桃太郎日本語学校（2/18）

■カリキュラム

- ①日本語N4集中取得（2～3ヶ月）
 - ➡独自の日本語カリキュラムを開発し、通常N4取得に4～6ヶ月要する所を2～3ヶ月で取得させている
 - ➡文法・語彙・漢字・聴解・会話・読解・模試など
- ②特定技能1号試験対策+運転理論（2ヶ月）
 - ➡独自のカリキュラム及び全ト協学習用テキスト教習所教本（インドネシア語）を使用
 - ➡業界理解・交通法規・安全運転理論・接客マナー・模擬試験・免許理論予習など
- ③日本入国後、合宿免許+生活文化講習（3週間）
 - ➡インドネシア語で受入可能な運転免許教習所（石川県）と提携
 - ➡入国後、合宿免許教習所で準中型免許取得を目指す
 - ➡日本の文化講習も並行して行う
- ④必要であれば中型・大型免許の取得を目指す

■見積り

総額**937,000円**

➡紹介料300,000円、在留資格申請100,000円、渡航費70,000円、免許取得費420,000円、消費税47,000円

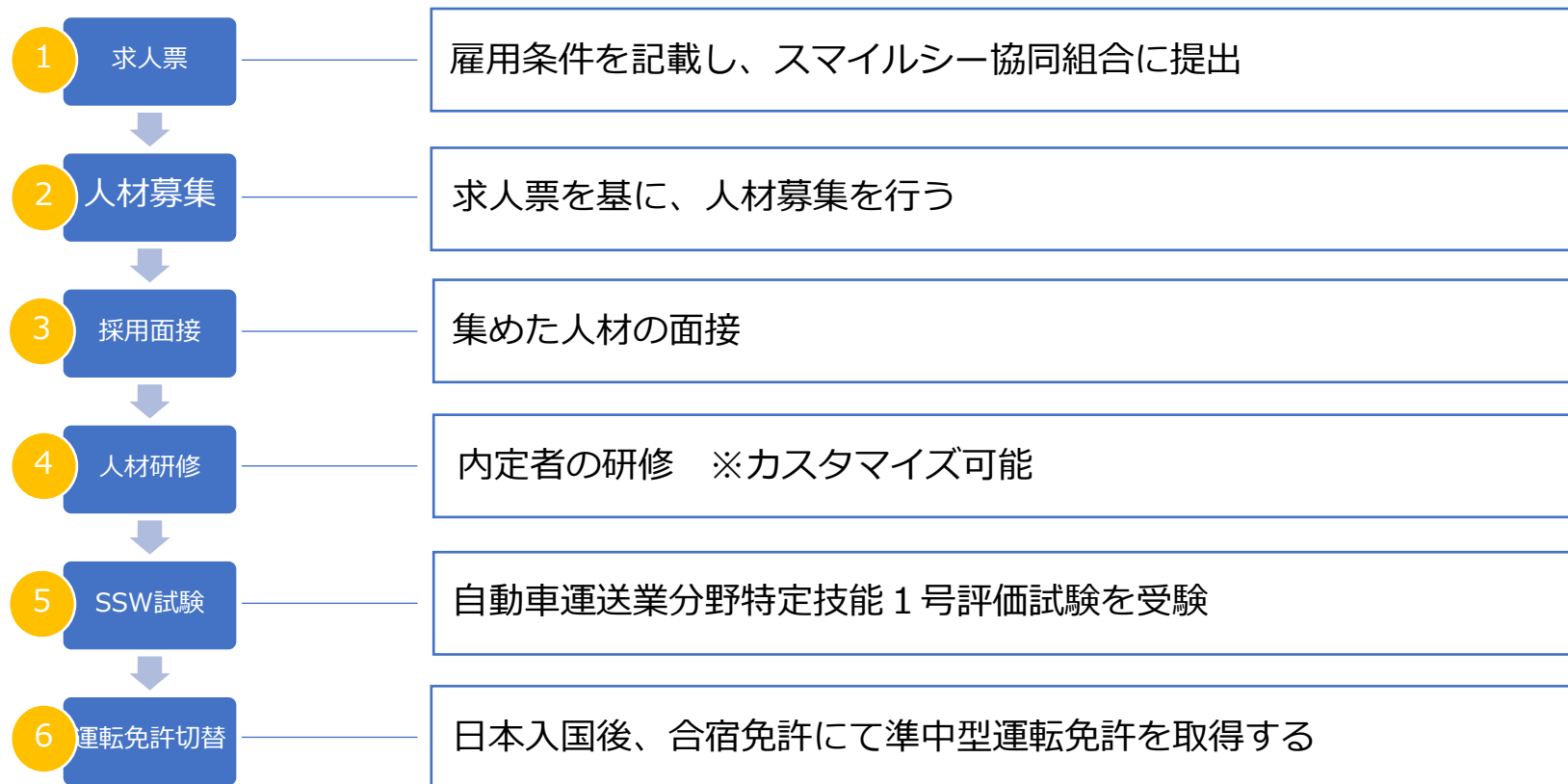
※免許取得費は企業から本人への貸付とし、給与からの分割返済

6. 現地視察

③視察内容

桃太郎日本語学校 (2/18)

■採用までの流れ



6. 現地視察

③ 視察内容

桃太郎日本語学校 (2/18)

■ 視察の様子



「歓迎のセレモニー」



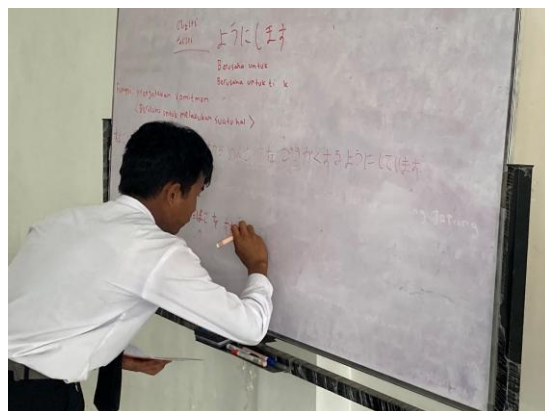
「概要説明」



「交通ルールの勉強」



「日本語の勉強」



「日本語の勉強」



「日本語の勉強」

6. 現地視察

③ 視察内容

桃太郎日本語学校 (2/18)

■ 視察の様子



《模擬面接》



《模擬面接》

3

履歴書

名前 Nama	WAHYU CHANIAGO			国籍 Kabangsaan	インドネシア共和国
カナ	ワヒュー チャニアゴ			学歴 Pendidikan	専門学校
出身地 Tempat Lahir	INDRAMAYU		生年月日 Tanggal Lahir	2003年5月14日	22歳
現住所 Alamat	PERUM GAP DS.LOHBENER KEC.LOHBENER KAB.INDRAMAYU				
電話番号 No. Tlp	08170-9372-23		性別 Jenis Kelamin	男性	
健康状態 Status Kesehatan	健康	血液型 Gol Darah	AB	婚姻 Status	独身
身長 Tinggi Badan	174 Cm	ウエスト Ukuran Pinggang	74 Cm	宗教 Agama	イスラム教
体重 Berat Badan	64 Kg	靴サイズ Ukuran Sepatu	27 Cm	趣味 Hobi	旅行すること
語学経験 Pengalaman Mempelajari Bahasa	●有Ya	●有Ya (日本)	○無Tidak	外国で働く経験 Pengalaman Bekerja diluar Negeri	
視力 Panghlihatan	左Kiri 右Kanan	矯正視力 normal	左Kiri (normal) 右Kanan (normal)	服サイズ Ukuran Baju	L
日本語学力 Bahasa Jepang	国際交流基金日本語基礎テストJFT-Basic A2			免許	インドネシア 普通免許
資格内容 Sertifikat	トラック1号特定技能評価試験			SIM	A
学歴 Riwayat Pendidikan	学校名 Nama Sekolah				
	2009年7月 ~ 2015年6月	小学校 (SD)	IMI PUJI FATAHILLAH		
	2015年7月 ~ 2018年6月	中学校 (SMP)	SMP N 1 LOHBENER		
	2018年7月 ~ 2021年6月	高等学校 (SMA)	SMK PGRI JATIBARANG		
	年 月 ~ 年 月	大学 (UNIVERSITAS)			
就職 Riwayat Pekerjaan	会社名・仕事内容 Nama Perusahaan,		内容 Isi Pekerjaan		
	2021年12月 ~ 2022年6月	TOKO SEPATU GROSIR PADANG JAYA	商品を配達する		
	2024年6月 ~ 2025年6月	FUJIKENZAI	コンクリート圧送工事作業		
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
家族氏名 Nama Keluarga	続柄 Hubungan	年齢 Umur	職業 Pekerjaan	現住所 Alamat	
RINALDI	父	54歳	運転手	INDRAMAYU	
AGUS KUSRIYAH NINGSIH	母	47歳	主婦	INDRAMAYU	
FEBRIYANI PUTRI CHANIAGO	姉	16歳	学生	INDRAMAYU	
YUSUP PUTRA CHANIAGO	弟	8歳	学生	INDRAMAYU	
兄弟: 人 / 姉妹: 人					
婚姻事項 (Lands)					
タバコSmoking	有Ya	飲酒	アルコールを飲まない		
刺青Tattoo	タトゥーなし				

《履歴書》

6. 現地視察

③視察内容

桃太郎日本語学校 (2/18)

■ 模擬面接時の主なやり取り

Q.なぜ日本で働きたいのか？

A.家族のために日本で働きたい、手取りの半分を家族に送りたい、

Q.どういった職場で働きたいか？

A.給料が良いところ、家族の様なフラットな関係、など

Q.秋田県は雪が降る地域だが問題ないか？

A.働く場所は関係なく仕事があるなら北海道から沖縄どこでも行く

Q.心配事はあるか？

A.交通ルールが心配、漢字が読めるか心配、など

Q.インドネシアとは異なる宗教だが大丈夫か？

A.問題ない、豚肉が実は好き、など

■ 参加者の感想

- | | |
|---|------------------------|
| ・日本で働きたいという気持ちを全員から感じた | ・日本の文化を理解しようとしているのを感じた |
| ・先生の日本語能力の高さに驚いた | ・ドライバー職30万は相当魅力になっている |
| ・雪道を知らない人にトラックを運転させるのは危険 | |
| ・日本の運送業とインドネシアの運送業では仕組みやルールも全く違うのでそこを学校でも教えて欲しい | |

6. 現地視察

③視察内容

MINORI・YUZURU (2/19)

- 住所 Gedung Grha Wahana Harja 1, Kp.Pagaulan RT13RW05,Desa Sukaresmi,Kec.Cikarang Selatan, Kab.Bekasi17532
- 電話番号 +62 21 8974540
- 代表 A.Wahyu Widjaja (ワヒュー)
- 特徴

- MINORIは、インドネシア政府認定の技能実習生・特定技能生の送り出し機関
- 約1,000人以上の学生が在籍しているインドネシア最大規模の施設
- これまで累計6,000名以上のインドネシア人を日本へ送り出した実績がある
- 建設・介護・サービス・製造など様々な業種に送り出している
- 日本支店が各所にあり、人材定着のサポートを行っている
- YUZURUは、運輸業が特定技能に追加されたことから新たに取り入れた教育機関
- 外免切替の専門企業「ジップラス」と提携し教育を行う
- 「Driver Bridge」というアプリを独自開発し、外免切替試験の進捗・期限を自動追跡し関係者が共有できる
- 施設内には日本の自動車学校を真似た自動車運転施設がある
- 外免切替による日本免許の取得を目指す
- 大手引越事業者に29名採用実績あり
- 能代の運送会社が3名内定を出している

6. 現地視察

③視察内容

MINORI・YUZURU (2/19)

■カリキュラム

- ①SIMB1保持者で自動車運送業分野特定技能1号評価試験を合格しドライバー職を希望する方が入校
 - ➡日本語レベルが備わっているので、運転教育に集中出来る
- ②運転教育（計120時間）
 - ➡技能実習（60時間）・学科教習（40時間）・模擬試験解説（10時間）・マナー教習（2時間）・危険予測（1時間）・その他（7時間）
 - ➡独自のカリキュラム及び教習施設を利用しての教育
 - ➡外免切替が厳格化されたことにより、より教育内容を充実させている
- ③日本入国後、特定活動中に外免切替試験を受験

■見積り

総額740,000円

※トラック協会経由で複数名のオーダーがある場合は約650,000円

※費用には外免切替（準中型免許）が含まれており中型・大型を取得する場合は別途費用発生

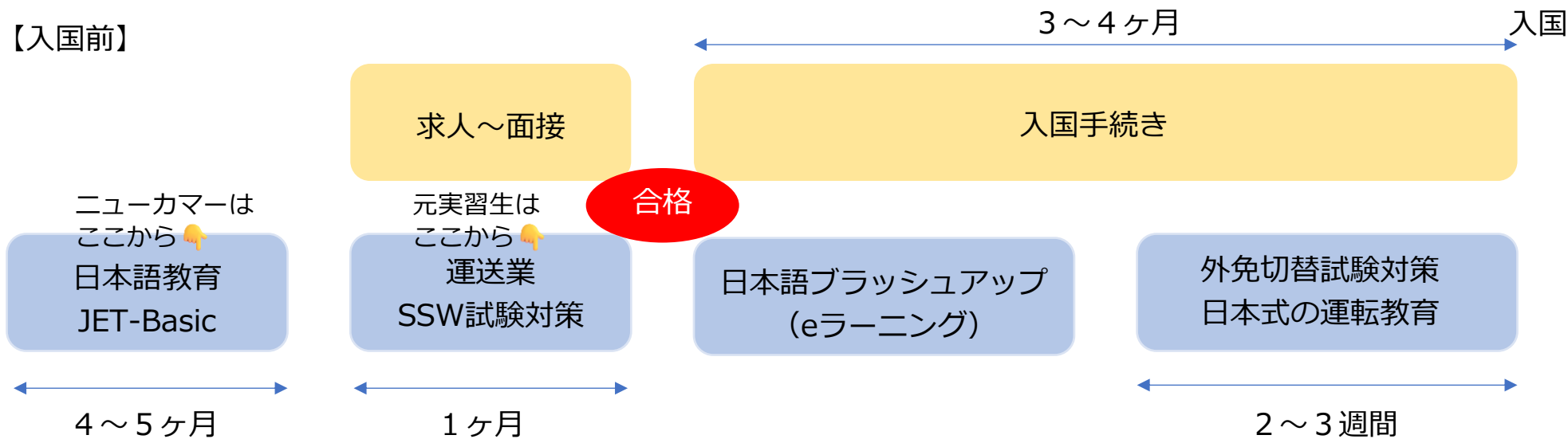
6. 現地視察

③視察内容

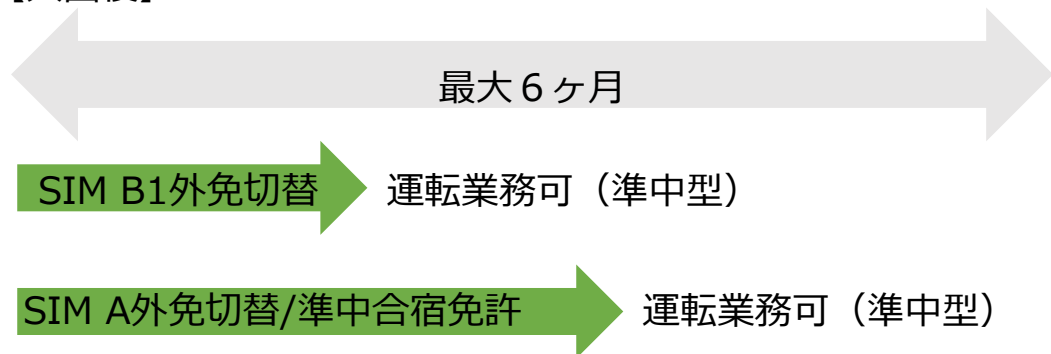
MINORI・YUZURU (2/19)

■採用までの流れ

【入国前】



【入国後】



6. 現地視察

③ 視察内容

MINORI・YUZURU (2/19)

■ 外免切替までのスケジュール



SIM A保持者
車両総重量3,500kgを越えない



普通免許
車両総重量 3,500kg未満 最大積載量 2,000kg未満

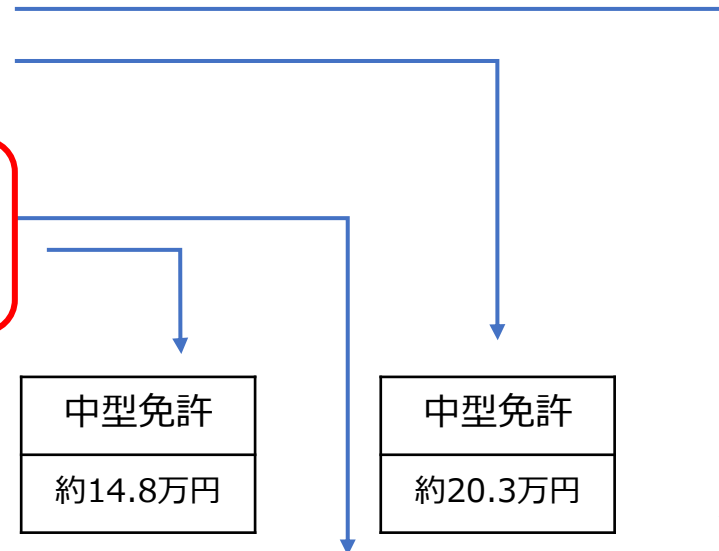
SIM B1保持者
車両総重量3,500kgを越える



準中型免許
車両総重量 3,500kg以上7,500kg未満 最大積載量 2,000kg以上4,500kg未満

中型免許
車両総重量 7,500kg以上11,000kg未満 最大積載量 4,500kg以上6,500kg未満

大型免許
車両総重量 11,000kg以上 最大積載量 6,500kg以上



中型免許
約14.8万円

中型免許
約20.3万円

大型免許
約31.3万円

大型免許
約38.5万円

6. 現地視察

③ 視察内容

MINORI・YUZURU (2/19)

■ 視察の様子



「概要説明」



「教習施設」



「乗用車」



「集合写真」



「MINORI」



「MINORI」

6. 現地視察

③ 視察内容

MINORI・YUZURU (2/19)

■ 視察の様子



《概要説明》



《面接待ち》



《大工教育》



《クラス》



《模擬面接》



《模擬面接》

6. 現地視察

③視察内容

MINORI・YUZURU (2/19)

■ 模擬面接時の主なやり取り

Q.なぜ日本で働きたいのか？

A.家族のために日本で働きたい、25万円位手取りで欲しい、など

Q.秋田県は雪が降る地域だが問題ないか？

A.働く場所は関係なく仕事があるなら北海道から沖縄どこでも行く、トラックの運転は得意、など

Q.心配事はあるか？

A.家族と離れるのが寂しい、など

■ 参加者の感想

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| ・多くの講師がおり質の高い教育を行っている | ・教育機関の規模の大きさに驚いた |
| ・模擬面接を通して質の高さを感じた | ・外免切替をとらせるための教育になっている気がした |
| ・雪道についてはやはり不安 | ・1社で採用するのは改めて難しい感じた |
| ・複数社や組合を作って進めるのは可能性がある | ・来日してからの教育が大切になる |

■ 送り出し機関の比較

	桃太郎日本語学校	MINORI・YUZURU
費用	937,000円 ※日本での準中型免許取得まで	740,000円 ※準中型免許への外免切替まで
免許取得方法	日本での取得	外免切替
実績	3名	29名

7. まとめ

■現地視察を通して

本視察は、深刻なトラックドライバー不足の解消に向け外国人ドライバー採用の可能性を検証し会員に発信することを目的として実施した。

現地の教育機関・送り出し機関・候補者との模擬面談を通し、採用の実現性、候補者の質、生活・文化面での適応可能性を総合的に確認した。

特に強く感じたことは、「ドライバー就労への関心の高さ」・「日本語教育の質の高さ」である。インドネシアの平均月収が約4万円であり、5年間特定技能として就労できるトラックドライバーは候補者にとって魅力である。また、日本語の生活会話だけでなく、職場に必要な専門語彙の教育も行っていることから教育の質は総じて高いことも分かった。

一方、課題としては「免許取得のハードル」・「冬道の運転」・「転職の可能性」などが挙げられる。特に冬道の運転に関しては、事故リスクが高まるだけでなく他地域と比較される要因になる可能性もある。賃金が低く冬道運転となる秋田県を「選んでもらえる事業者」にする必要がある。

■今後の対応

外国人ドライバー採用に関してのメリット・デメリットが明確になった一方、現地の状況について詳しく学ぶことが出来た。今後は、「外国人ドライバー採用」に関しての情報（概要・登録支援機関・対象国の特徴など）を取り纏め発信すると共にセミナーや相談会の開催を通し広く周知していく予定。また、1社だけでは採用が困難になることから、組合設立等の可能性に向けても議論していくこととしている。